

単元名：

「私と家族」

(全 1 時間扱い中 第 1 時)

授業日時

2019 年 9 月 17 日 (火) 第 1 校時

授業学級

3 年 A 組

授業会場

被服室

授 業 者

指 導 者

(1) ねらい

生徒は CM の映像や幼少期の写真をもとに様々な立場から家族について振り返ることを通して、自分にとっての家族とはどのような存在か考え、思いを綴ることができる。

(2) 授業のポイント

・ 動画を通して、家族の存在を客観的に捉えることが出来るようにする。【授業者の手立て】

(3) 展開

過程	学習活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導 入	1. 漫画やアニメの家族の形から家族に対するイメージを持つ。 【全体】	○「家族には、このように様々な形があるね。」 (意図)漫画やアニメのなど子どもたちに身近な家族の形を例示することで、家族へのイメージを広げることが出来るようにする。	5
	【学習問題】 あなたにとって家族とはどんな存在か考えてみよう。		
	2. 動画を見る。 【全体】	◇CM の映像を再生し、女性と父親の映像から家族の在り方を捉えなおす契機になるようにする。	3
	【学習課題】家族についていろいろな立場から考えてみよう。		
展 開	3. 動画の登場人物の心情を考える。 【グループ・全体】	○「この女性はなぜ『うまい』を言えなかったのだろう。」 ○「この女性は、なぜお父さんのチャーハンが食べたかったのかな。」 ○「女性が外で食事をしてきたシーンの父親はどんな気持ちだったのだろう。」 ◇CM の登場人物の心情を考えることによって、家族との関わりを客観視することが出来るほか、生徒の家族関係に配慮することが出来る。	10
	4. 幼少期の写真をもとに当時の思い出を振り返り、語ることで、家族の存在に気づき、家族との関わりを振り返る。グループで出た意見を全体で共有する。 【個人・グループ・全体】	○「写真をもとに状況を整理しよう。」 ○「その時の家族の思い出について考えよう。また、写真をもとにグループで思い出を語り合おう。」 ◇写真を幼少期にすること、家族との写真に限定せずに家族との関わりについて考えることを通して、現在の生徒の家族関係に配慮するほか、家族がどのように自分と関わってくれていたことに気づくことが出来る。	12

過程	学習活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
	5. 動画を見る。【全体】	○みんなの思い出には、いろいろな関わりや思いがあることが分かったよね。そこで、もう一つ動画を見てもらおうと思います。 ◇CM の映像から、家族の様々な役割や存在の重要性に気づくことが出来るようにする。	5
	6. 家族との時間について知る。【全体】	○「皆さんは知っていますか。家族と過ごす時間は中学生頃を最後に減少していく事を。」 ◇家族とかかわる時間の変化を表した表を用いることによって、家族と過ごす時間の貴重さに気づくことが出来る。 ◇教師の体験を交えながら語ることで、生徒が実感を持って考えられるようにする。	5
終末	7. 動画を見る。【全体】 8. 本時を振り返り、自らにとっての家族の存在から、家族に対する思いを書く。【個人】	◇CM のお弁当を作る母親の映像から、現在の自分たちと重ねることで家族の存在について改めて考え続けられるようにする。 ○「今回の授業を通して、あなたにとって家族とはどういう存在だと思いましたか。今回の授業で思ったことや、家族に対する思いを書きましょう。」	10

(4) 板書計画

学習問題 あなたにとって家族とはどんな存在か考えてみよう。	女性の気持ち ・ ・ ・ ・	経験 家族の思い
学習課題 家族についていろいろな視点から考えてみよう。	父親の気持ち ・ ・ ・ ・	